

論文審査の要旨(甲)

申請者領域・分野 氏名	感覚統合科学領域耳鼻咽喉・頭頸部外科学教育研究分野 氏名 鈴木 哲史
指導教授氏名	松原 篤
論文審査担当者	主 査 田坂 定智 副 査 上野 真治 副 査 下田 浩
(論文題目)	Major basic protein deposited at intra mucosal epithelium with probable eosinophilic chronic rhinosinusitis (好酸球性副鼻腔炎疑いの鼻茸粘膜上皮内に沈着する Major basic protein について)
(論文審査の要旨) 900 字程度	<p>好酸球性副鼻腔炎(Eosinophilic Chronic RhinoSinusitis : ECRS)は鼻閉や嗅覚障害をきたす難治性の副鼻腔炎である。ECRS の診断には JESREC score が用いられており、手術検体の病理所見により確定診断とする手法が確立している。しかし、JESREC score で ECRS に該当しても、病理では好酸球浸潤が軽度で ECRS の診断基準を満たさない例 (probable ECRS : pECRS) が散見され、その扱いについては結論が得られていない。申請者らは、好酸球の顆粒蛋白である Major Basic Protein (MBP) に注目し、鼻茸上皮内に沈着する MBP を免疫組織学的手法により評価し、pECRS の病態との関連を検討した。</p> <p>当院で鼻内視鏡手術を施行した 128 例を対象とし、①ECRS、②pECRS、③JESREC score では ECRS に該当しないが、病理組織では好酸球浸潤が高度である probable Non-ECRS (pNECRS)、④非好酸球性副鼻腔炎 (Non-ECRS : NECRS) の 4 群に分けて比較検討した。免疫染色で鼻茸上皮内の MBP の沈着をスコア化 (MBP score) して比較検討した。</p> <p>JESREC score が高値の症例は気管支喘息の既往の割合や血中好酸球の値が高かった。MBP score は ECRS のみならず pECRS でも高値であり、どちらの群も NECRS と比較して有意に高かった。また MBP score と血中好酸球数や JESREC score との間には有意な相関がみられた。しかし ECRS の再発に関しては、再発群と非再発群とで MBP score に差がなかった。</p> <p>本研究では好酸球の顆粒蛋白である MBP が ECRS のみならず pECRS でも上皮内に沈着しており、pECRS における好酸球性炎症の関与が疑われた。pECRS において手術検体の好酸球浸潤が軽度である原因については明らかではないが、鼻内視鏡手術を行う前に投与している副腎皮質ステロイドが好酸球のアポトーシスを誘導し、好酸球浸潤を抑制していた可能性が考えられた。今回の研究は、術前の副腎皮質ステロイド投与により ECRS となる条件から外れてしまう症例が存在する可能性を示し、今後の ECRS の診断基準の再検討にもつながる有意義なものと考えられ、学位授与に値する。</p>
公表雑誌等名	Asia Pacific Allergy. 2022 Jul;12(3):e28.